



あとがき



今年度から核データニュース編集委員に加えていただいた、北海道大学の合川です。子供のころから国語が苦手で読書感想文などが大嫌いでしたので、編集委員が務まるか不安ですが、多少なりとも貢献できればと考えています。よろしく願いいたします。

さて、このあとがきを書いているのは1月中旬で、私の自宅がある地域は雪で覆われています。例年通り、今年も吹雪などが原因で電車が運休しています。以前は電車運休時には欠勤するしかありませんでしたが、コロナウイルス感染症の影響で在宅勤務が可能になり、欠勤する必要がなくなりました。ただ、在宅勤務は、何度か試してみたものの、私には向いていませんでした。これまでは意識していませんでしたが、通勤時に気持ちの切り替えをしていたようです。ある意味「不要」だといえる通勤時間ではありますが、意味があったのだと気付かされました。

最近、研究会や学会の多くがオンラインで開催されるため、時間や費用を節約できるようになりました。一方で、出張の際には、現地で過ごす仕事以外の時間を楽しみにしてきました。そんな仕事以外の「不要」な時間のためにも、コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、研究会や学会が対面で開催されるのを心待ちにしています。

合川 正幸 2022年1月

日本原子力学会核データ部会  
核データニュース編集小委員会

合川 正幸 (北大)	岩本 修 (原子力機構)
大塚 直彦 (委員長、IAEA)	金 政浩 (九大)
小浦 寛之 (原子力機構)	中村 詔司 (原子力機構)
丸山 修平 (原子力機構)	山野 直樹 (RADONet)